

総研大アジア冬の学校2006

「総研大アジア冬の学校2006」が2006年11月20日（月）～22日（水）の日程で岡崎コンファレンスセンターにて開催されました。これは総合研究大学院大学の2006年度特定研究教育経費に基づく企画で、2002年に開催された「岡崎レクチャー（アジア冬の学校）」の流れを汲むものです。総合研究大学院大学物理科学研究科5専攻の連携事業として行われるようになって2度目の開催となり、各専攻の連携の下に総合研究大学院大学で行われているレベルの高い研究・教育内容を広く国内およびアジア諸国からの学生・若手研究者の教育に活用することを目的としています。今年度の参加者は合計45名で、アジア諸国（韓国、中国、インド、バングラディッシュ、台湾、タイ、フィリピン）からの参加者は26名、国内からは19名の参加があり、そのうち総研大生は3名でした。

本年度は、“Frontiers in Molecular Science: Electronic and Structural Properties of Molecules and Nano Materials”、をテーマとして、集中講義1件、セミナー6件の講義（すべて英語）が行われました。集中講義は、小杉信博先生に“Molecular Spectroscopy and Electronic Structure Theory”というタイトルで4コマ（6時間）にわたって御担当いただき、分子軌道理論の基礎から内殻励起分光への応用まで、ホワイトボードを用いたわかりやすい丁寧な講義がありました。セミナーは2日に分けて行われました。初日は、岡本裕巳先生による、“Near-field Imaging/Spectroscopy of Nanomaterials”、佃達哉先生による、“Structure and Properties of Gold Clusters Stabilized by Organic Molecules”、小川琢治先生による、“Preparation of Organic Molecules and Inorganic Nano-

Structures toward Molecular Scale Nano Devices”と続き、2日目は大島康裕先生による、“Fundamentals of Molecular Spectroscopy as Micro and Macroscopic Probes in Labo and Field”の後に、国立天文台からご参加いただいた廣田朋也先生による、“Astrochemistry – Molecules in space”、そして菱川による“Molecules in Few-Cycle Intense Laser Fields”についての講演がありました。

今年は、参加者および講演者との交流を図る目的でポスターセッションが行われました。自らの最新の研究内容や研究室で行われている研究紹介など、理論科学から光科学、物質科学まで多岐にわたる内容で、軽食をつまみながらの議論にセッションの時間が瞬く間に尽きました。2日目には、参加者全員に講師の先生方および中村宏樹所長を交えて懇談会が開催され、活気のある雰囲気の中で自由に情報収集や意見交換が行われました。

参加者へのアンケートでは、「もう



少し期間を延長してじっくりと講義を聴きたい」、「ラボツアーを行ってほしかった」などの意見もあり、今後の開催において改善の余地が見受けられましたが、全体として「講義を受けてこれからの自分の研究を進める上で大きく役に立った」、「他国の学生と交流ができて楽しかった」、「今後も機会があればもう一度参加したい」との声が多く寄せられ、ひとまずは成功裡にこの冬の学校を終えることができました。

最後になりましたが、入念な準備の上ですばらしい講義をいただいた講師の先生方、開催にあたって御手伝いいただいた基礎光化学研究部門秘書の中根淳子さん、大島グループおよび菱川グループのメンバーの方々に、この場を借りて御礼申し上げます。

（菱川明栄 記）

